

試験問題例

令和4年度に出題された問題を掲載しています。

※ 出題された教養試験、国語試験、論(作)文試験の問題(著作権の関係により公開していない部分を除く。)は、一定期間、警視庁情報公開センター(警視庁本部庁舎1階)及び都民情報ルーム(都庁第一本庁舎3階)で閲覧することができます。

1 教養試験

〔I類〕

(1) 知識分野

[政 治] 我が国の行政に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 行政国家とは、行政機能の拡大した国家のことをいい、我が国では階級制を特徴とする官僚制が発達した第一次世界大戦以降に顕著にみられるようになった。
- (2) 国会において、政府(内閣)が提出する法案(閣法)は、議員提出法案(議員立法)にくらべてその数が少ないのが現状である。
- (3) 行政委員会とは、一般の行政機関からある程度独立した合議制の機関であるが、準立法的機能や準司法的機能は与えられていない。
- (4) 内閣が制定する命令のことを政令といい、罪刑法定主義の観点から、いかなる場合も政令に罰則を設けることは許されていない。
- (5) オンブズマン制度は、行政機関の活動を調査・勧告等するものであり、地方公共団体での導入が進んでいるものの、国政ではまだ導入されていない。

【正答(5)】

[経 済] 我が国の財政に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) ビルトイン・スタビライザーとは、政府が行う裁量的財政政策のことをいい、景気安定化のための人為的な政策である。
- (2) ポリシー・ミックスとは、政府が不況時において、減税と公共事業の拡大を同時に行う財政政策のみで政策目的を実現することをいう。
- (3) 資源配分機能とは、累進課税制度や社会保障給付を用いて、極端な所得格差を是正することをいう。
- (4) 政府の収入を歳入、支出を歳出といい、歳入・歳出のうち、政府の一般的な活動にあてる部分を一般会計、特定の事業にあてる部分を特別会計という。
- (5) 所得税などで採用されている累進課税制度は、所得の多い人ほど税を多く負担させて公共事業を増やすなど、総需要を拡大させることで景気回復をはかる政策である。

【正答(4)】

[日 本 史] 室町時代に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 鎌倉幕府の管領にかわり、室町幕府では執権が将軍を補佐する中心的な職として、侍所や政所などの統轄や、諸国の守護に将軍の命令を伝達する役割などを担った。
- (2) 幕府の財政は、将軍の直轄領である御料所からの収入のほか、京都の土倉や酒屋に課した土倉役・酒屋役、関所を設けて徴収した関銭・津料などでまかなわれた。
- (3) 源平の争乱以後の歴史を公家の立場から記した歴史書の『太平記』や、南北朝の動乱を描いた軍記物語の『増鏡』がつくられた。
- (4) 1333年に鎌倉幕府が滅亡すると、光厳天皇は後醍醐天皇を退位させ、翌1334年に年号を建武と改め、天皇自らが政治を行う建武の新政を始めた。
- (5) 日朝貿易は、朝鮮側が倭寇の本拠地とされる対馬を襲撃した元寇^{げんこう}によって一時中断されたが、1510年の三浦の乱がおこるまでは活発に行われていた。

【正答 (2)】

(2) 知能分野

[判断推理] A～Eの5人がテストを受けた。この5人のテストの点数について、次のア～オのことがわかっているとき、Bの点数の順位として、最も妥当なのはどれか。

- ア Aの点数はBの点数より2点高かった。
- イ Bの点数は、AとCの平均点より3点高かった。
- ウ CとDは7点差だった。
- エ DとEは6点差だった。
- オ EとAは3点差だった。

- (1) 1番
- (2) 2番
- (3) 3番
- (4) 4番
- (5) 5番

【正答 (3)】

[数的処理] 白色と黒色の2種類のタイルがある。横に15枚、縦に9枚を、白色と黒色を交互に並べる。1番左上に黒色タイルを置くとき、確実にいえることとして、最も妥当なのはどれか。

- (1) 白色タイルは、全部で67枚ある。
- (2) タイルの枚数は、白色の方が多い。
- (3) 左から7番目、上から5番目の位置にあるタイルは白色である。
- (4) 1番右上にあるタイルは、白色である。
- (5) 中央の位置にあるタイルは黒色である。

【正答 (1)】

〔Ⅲ類〕

(1) 知識分野

[法 律] 日本の新しい人権と法律に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) プライバシーの権利を守るため、行政機関に関する個人情報保護法が制定されたが、民間事業者の個人情報の取扱いに関する責務については言及されていない。
- (2) 知る権利を明記した法律として国の情報公開法が制定され、それ以降、地方自治体で情報公開条例が制定されるようになった。
- (3) 特定秘密保護法は、安全保障に関する重要情報の秘密性を特に保護するため、特定秘密に指定し、それを漏洩した公務員などを処罰する内容を含む法律である。
- (4) 通信傍受法は、電話などの電気通信の傍受を捜査機関が行うことを可能とする法律であり、対象となる犯罪に限定はない。
- (5) 環境権とは、良好な環境のなかで生活を営む権利をいい、環境基本法ではじめてこの環境権が明示された。

【正答 (3)】

[政 治] 日本の政党に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 政党の財政面では、政治資金規正法により政治家個人や政治家の資金管理団体への企業・団体献金は禁止されているが、政治資金の内容の公開や政治献金の金額の制限に関する定めはない。
- (2) 近年では選挙の際、政党がマニフェストと呼ばれる政策文書を公約として示すことがあり、数値目標・期限・財源・実施方法などが盛り込まれている。
- (3) 衆議院・参議院のいずれにおいても多数派を形成している政党のことを与党といい、与党と対立する政党のことを野党という。
- (4) 政党助成法は、政党の活動資金を公費の政党交付金により助成するための法律である。助成の対象となるのは、衆議院または参議院に議席を有する政党であり、議席数に制限はない。
- (5) 55年体制とは、1955年に始まった多党化傾向のことであり、派閥を中心に党が運営されて、しばしばその力関係で国政が左右される状況が生み出された。

【正答 (2)】

[国 語] 次のことわざとその意味の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

- | | | |
|-----------------|---|------------------------|
| (1) 笛吹けど踊らず | — | 準備を整えて誘っても、人がそれに応じないこと |
| (2) 寝た子を起こす | — | 突然思いがけないことが起こって驚くこと |
| (3) 紺屋の白袴 | — | 同類の者はその道に明るいこと |
| (4) 獅子身中の虫 | — | 手懐けて思うままにすること |
| (5) 上手の手から水が漏れる | — | 一度してしまったことは取り返しがつかないこと |

【正答 (1)】

(2) 知能分野

[判断推理] ある大都市にA～Fの6つの高層ビルが建っており、それぞれのビルの関係について、次のア～ウのことがわかっているとき、6つの高層ビルの高さの順位を決定するために必要な条件として、最も妥当なのはどれか。

- ア AはFより高く、BはEより高い。
- イ AはCより低く、FはEより低い。
- ウ DはCより高く、AはEより低い。

- (1) BはAより高い。
- (2) BはDより高い。
- (3) BはDより低い。
- (4) CはBより高い。
- (5) EはCより低い。

【正答 (4)】

[数的処理] Aは毎朝7時20分に自宅を出発し、徒歩で大学へ通学している。ある日、寝坊したため30分遅れて自宅を出発した。出発してから徒歩の3倍の速度で走り、自宅と学校のちょうど中間地点から徒歩で学校に向かったところ、いつもと同じ時間に学校に到着した。このとき、学校に到着した時間として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 8時45分
- (2) 8時50分
- (3) 8時55分
- (4) 9時00分
- (5) 9時05分

【正答 (2)】

2 国語試験

令和5年度より、試験の方法が五肢択一式になります。

3 論(作)文試験

I類	あなたの目標や取組に影響を与えた経験に触れ、その経験から得たものを活かしてどのような警察官になりたいか述べなさい。
III類	規則や決まり事を守ることの大切さを感じた経験について触れ、それを警察官の職務にどのように活かしていきたいか述べなさい。